

第24回 臨床試験セミナー 統計手法入門コース

Webをチェック

オンライン
配信
セミナー

参加のおすすめ

昨今の我が国における臨床研究を取り巻く環境、特に生物統計家の関与に関して大きく変化しつつあります。例えば、臨床研究法の施行(平成30年4月1日)、臨床研究中核病院の承認要件における「臨床研究支援・管理部門に所属する専従の生物統計家が2名以上」、AMED研究申請時における生物統計家の氏名とその業務経験の記載、特定認定再生医療等委員会の構成要件における「生物統計その他の臨床研究に関する識見を有する者」などです。

「統計学」と聞くと、「重要なことはわかるが、難しい・数式が多い・できれば避けたい」などと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、上記の世の中の流れや昨今の「データサイエンス」ブームなどとも相俟って、統計学的なものの考え方はマストなリテラシーになっています。

本セミナーでは、医学・健康科学の実務・研究に必須な生物統計学の本質を数学的・技術的な問題に深入りすることなく講義することを目指しています。具体的には、コントロール(対照群)の設定、統計的推測の基礎(検定・推定・信頼区間)、ランダム化、サンプルサイズ設計などの考え方をわかりやすく講義します。また、講義だけでなく、擬似臨床試験データを利用した実習を通して、ランダムサンプリング・ランダム化・統計的仮説検定・因果効果の推定などの実際を体験していただきます。生物統計学の基礎から学びたいと思っていらっしゃる方には、ぜひご参加をおすすめいたします。

東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻 生物統計学 教授 松山 裕

コースの特色

- 統計の基礎を固めたい方、統計に苦手意識をお持ちの方にお勧めします。
- 数式をあまり使用せずに、統計的な考え方について事例を用いてわかりやすく解説します。
- わかりやすい事例を用いて講義を行います。
- 実際に臨床試験の模擬データを扱いランダム化の実習を行います。
- 実際に手計算を行うことで、講義だけではわからなかった統計のしくみを学べます。
- 生物統計について深く学びたい方は、本コースの後に「臨床試験セミナー 統計手法コース(CT)」、「臨床試験セミナー 統計手法専門コース(BioS)」の上位コースを受講することをお勧めします。

参加対象

- 製薬企業、CRO、アカデミア等で、臨床開発に携わる予定の方や未経験者、初心者の方
- 統計の勉強をしたいが苦手意識をお持ちの方
- 「臨床試験セミナー統計手法コース(CT)」「臨床試験セミナー統計手法専門コース(BioS)」を受講する前に統計の基礎を学びたい方

カリキュラム

日	時 間	講 義 内 容	講師(敬称略)
7月27日(月)	9:20~12:30	【講義】臨床試験のデザイン:統計的側面 (臨床試験のデザイン、特に、コントロールの重要性、ランダム化、エンドポイント、サンプルサイズ設計などについて、その統計的な考え方)	松山 裕
	13:30~17:00	実習1 仮想的な多施設臨床試験のモデルデータを用いたランダムサンプリング調査・ランダム化実験 ①ステップを踏んだ検定・推定の計算方法の習得 ②データのばらつきに起因する「標準偏差」と「標準誤差」の使い分け ③独立して行われている個々の臨床研究の検定結果・信頼区間の解釈 等	篠崎 智大 萩原 康博
7月28日(火)	9:00~12:15	【講義】統計的仮説検定と信頼区間 (疾病の数を数える「疾病頻度の指標」、あるいは治療の効果を定量的に表現する「効果の指標」といった基礎的な概念を説明した後、統計的仮説検定、および信頼区間の考え方)	松山 裕
	13:30~15:00	実習2 ※実習1の続き	篠崎 智大 萩原 康博

カリキュラムは都合により、予告なく変更になる場合がございます。2025.11.30

指導講師(順不動・敬称略)

松山 裕	東京大学大学院 医学系研究科 公共健康医学専攻 生物統計学 教授
篠崎 智大	東京大学大学院 情報学環 准教授
萩原 康博	東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻 生物統計学分野 助教

開催日程

2026年7月27日~28日(2日間)

参加費(税込)

一 般 74,800円
賛助会員 66,000円